

小牧市観光振興基本計画

第1章 計画改定の趣旨	10
第2章 観光に関する社会的変化	16
第3章 小牧市の観光の現状	18
第4章 小牧市の目指す観光	46
第5章 計画の推進に向けて	65

小牧市観光振興基本計画

第1章
計画改定の趣旨

第2章
観光に関する
社会的変化

第3章
小牧市の観光の現状

第4章
小牧市の目指す観光

第5章
計画の推進に
向けて

参考資料

第1章 計画改定の趣旨

(1) 背景と目的、改定の方針

① 国と県

2007年1月に施行された「観光立国推進基本法」では、観光立国の実現を国家戦略と位置づけ、豊かな国民生活を実現するため、「住んでよし、訪れてよしの国づくり」を基本理念とし、国、地方公共団体、住民、観光事業者の責務などについて定めています。

2012年3月には、観光ニーズの変化や観光地における地域間競争の激化、東日本大震災による影響、訪日外国人の増加など、近年の情勢の変化を踏まえ、観光立国の実現に関する施策を総合的かつ計画的に推進するため、第2次「観光立国推進基本計画」（2012年～2016年）が、2017年には、第3次「観光立国推進基本計画」（2017年～2020年）が閣議決定されました。

さらに、2023年3月31日、観光立国の実現に関する施策の総合的かつ計画的な推進を図るため、新たに第4次「観光立国推進基本計画」が閣議決定されました。

この基本計画においては、観光立国の持続可能な形での復活に向け、観光の質的向上を象徴する「持続可能な観光」「消費額拡大」「地方誘客促進」の3つをキーワードとして、

- ①持続可能な観光地域づくり戦略
- ②インバウンド回復戦略
- ③国内交流拡大戦略

の3つの戦略に取り組むこととしています。

また、数値目標として、訪日外国人旅行消費額5兆円、国内旅行消費額20兆円の早期達成を目指すとともに、2025年までに、持続可能な観光地域づくりに取り組む地域数100地域、訪日外国人旅行消費額単価20万円/人、訪日外国人旅行者一人当たり地方部宿泊数2泊などの目標を掲げています。

愛知県においては、2008年10月に「愛知県観光振興基本条例」を制定し、基本理念や、県民等の役割、観光振興に関する施策の基本事項を定めており、2024年2月には、愛知県観光振興基本計画である「あいち観光戦略 2024-2026」が策定されました。同計画では、目指すべき姿として、『さすが』と言いたくなる『観光県・あいち』 -あいち『ソウ』リズム 2.0- 【革新・成長】【持続可能】【高付加価値】を掲げ、基本方針として、「高付加価値化の推進」、「持続可能性の追求」、「デジタル化・DXの推進」、「オープンイノベーションの促進」の4つを位置づけ、施策を推進していくこととしています。

② 小牧市

a 小牧市の概要

本市は、恵まれた立地条件を生かし、県下有数の工業都市へと発展を遂げてきました。本市の総人口は、2012年から2019年まで約15.3万人とほぼ横ばいで推移していましたが、2020年以降、微減傾向となり、2023年9月1日時点で150,095人となっています。

一方、本市の産業別就業人口では製造業が最も多く、全体の30.7%で約3割を占め（2020年）、昼夜間人口比率は、121.0%のプラスとなり、全国的にみても高くなっています。

市内総生産は県下第6位（2020年）で、市民所得、家計所得も県下で上位に位置し、県内でも比較的経済が好調な地域となっています。

図 本市の人口推移

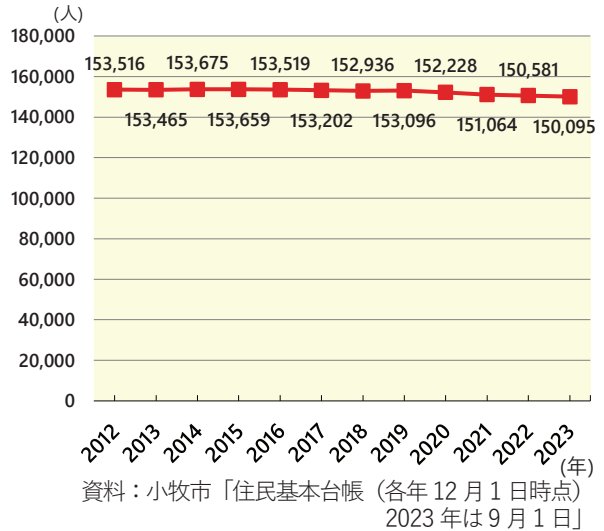


表 産業別就業人口割合

	第1次産業	第2次産業	第3次産業
全国	3.2	23.4	73.4
愛知県	1.9	32.4	65.7
小牧市	1.1	36.6	62.3

（単位：％）
資料：総務省「国勢調査（2020年）」

図 本市の市内総生産の推移



表 昼間人口比率

	従業地による人口 (昼間人口)	常住地による人口 (夜間人口)	昼夜間人口比率	昼夜間人口比率 全国順位
全国	126,146,099	126,146,099	100.0%	-
愛知県	7,637,684	7,542,415	101.3%	4位 /47都道府県
小牧市	180,031	148,831	121.0%	51位 /1,741市区町村

資料：総務省「国勢調査（2020年）」

図 本市の市民所得の推移

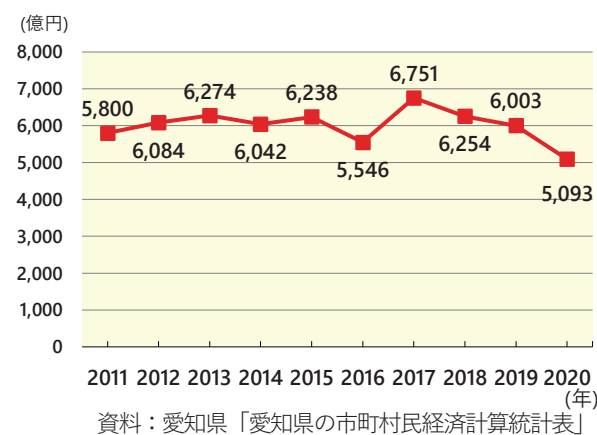


図 本市の家計所得の推移



小牧市観光振興基本計画

第1章
計画改定の趣旨

第2章
観光に関する
社会的変化

第3章
小牧市の観光の現状

第4章
小牧市の目指す観光

第5章
計画の推進に
向けて

参考資料

b 観光に関する概況

本市では、1955年に小牧市観光協会が発足後、観光協会と協力し、小牧山を活用したイベントの実施や観光ルートの開発などによる観光資源の活用、観光情報の提供及びPRなどにより観光振興に取り組んできました。また2012年7月に小牧駅前観光案内所を都市センター（当時）内に開設し、小牧山城築城450年記念事業の展開に合わせ、2013年4月に小牧市観光協会の事務局を独立設置、同年5月に小牧駅前観光案内所の移設とともに観光協会事務局を同案内所に設置し、2016年11月には、（一社）小牧市観光協会として法人化し、観光推進体制の強化に努めてきました。



本市は、国や県・市指定の文化財をはじめとする地域資源を数多く保有し、小牧神明社の秋葉祭、田縣神社の豊年祭など伝統的な祭事や、こまき信長夢夜会、小牧山さくらまつり、小牧山薪能など個性豊かなイベントが年間を通して盛んに行われています。さらに市内にはパークアリーナ小牧、スケートパーク川西などのスポーツ関連施設や市民四季の森、小牧市中央図書館、こまきこども未来館などの特色ある施設も数多く整備されています。



③ 計画改定の目的

本市の観光に関する初めての指針である小牧市観光振興基本計画（2016-2020）を策定してから8年以上が経過し、観光をとりまく環境の変化や計画で定めた観光施策のプライオリティ（重要度・優先度）に変化がみられることから、新たに観光ビジョン、戦略、施策等を設定し、本市の現状に適応した観光推進の実現を目的に改定を行いました。

④ 計画改定の方針

小牧市観光振興基本計画（2016-2020）は、Ⅰ部（基本理念、基本方針、基本施策）と、Ⅱ部（観光重点プラン）の2層構造となっていました。

今回の改定では、本市の目指す観光をより明確に示すものとするため、全体の構成を大幅に見直し、10年後の目指す姿として、新たに観光ビジョンと、ビジョンを実現するための3つの戦略を設定し、戦略に基づく8つの施策を展開することとしました。なお、計画の改定に当たっては、下記の視点により進めました。

a 社会情勢の変化への対応

新型コロナウイルス感染症を経験後の観光を取り巻く環境や、ICT 活用の進展などの社会全体の動向と、国・県の動向を反映しました。

b 本市の観光実態の把握

本市の観光実態をよりの確に把握するための実態調査を実施し、本市の課題の洗い出しや新たな施策立案を行いました。

c 本市を取り巻く観光への対応

観光的活用が見込まれる新たな施設の建設やリニューアル、新たな特産品やグルメメニューなどを観光施策に反映しました。

d 計画評価の見直し

小牧市観光振興基本計画（2016-2020）では、入込客数を指標としていましたが、それだけでは本市の観光推進の進捗を適切に評価することが難しかったため、多角的な分析により各施策の成果を測り、PDCA サイクルを実践するため、今回の改定で、複数の新たな指標を設定することとしました。

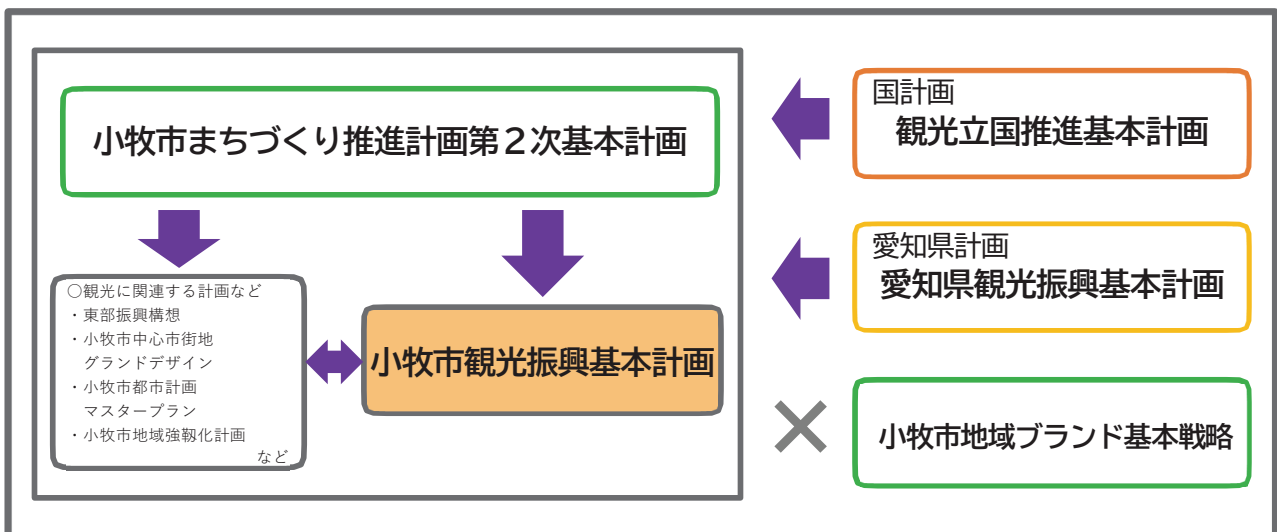
小牧市観光振興基本計画

(2) 計画の位置づけ

本市では、「小牧市まちづくり推進計画第2次基本計画」における分野別計画編「5 産業・交流」の基本施策19「シティプロモーション」にて、『様々な地域資源の魅力向上とその活用によるシティプロモーションを推進するとともに、魅力を市内外に発信することにより、「訪れたいまち」「住みたいまち」「住み続けたいまち」を形成します。』の目的の実現に向けた施策の展開方向を示しています。また、「小牧市地域ブランド基本戦略」においては、そのブランドコンセプトとして「夢・チャレンジ 始まりの地 小牧」を掲げ、まち全体の良いイメージづくりを行うことで、本市がより「住み続けたいと思うまち」、「愛着や誇りを感じるまち」となることを目指しています。

また、SDGs 未来都市計画では、2030年のあるべき姿として、市民が「小牧市に住み続けたい」、市外在住者が「小牧市に住みたい」と思ってもらえるように、中心市街地を活性化し、若年代から支持され、さらにはすべての市民から親しまれる、魅力あふれるまちの実現を目指しています。

本計画は小牧市まちづくり推進計画第2次基本計画を上位計画とし、本市の観光に関連する計画・プランなどと連携しながら推進するものです。



(3) SDGs未来都市 小牧市

SDGs 未来都市に選定された尾張地域初の自治体 小牧市

2015年の国連サミットで、2030年に向け、持続可能な世界を実現するための17のゴールと169のターゲットで構成された国際的な持続可能な開発目標（Sustainable Development Goals、以下、SDGs）が採択されました。我が国でも、関係行政機関相互の緊密な連携を図り、総合的かつ効果的に推進するため、全国務大臣を構成員とする持続可能な開発目標推進本部を設置してSDGsに係る施策に取り組んでいます。

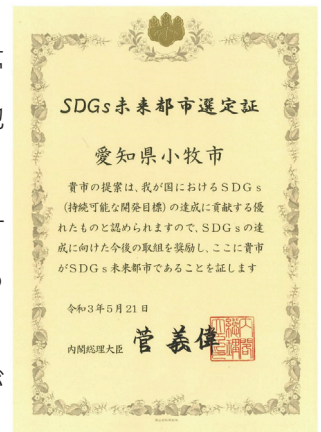


資料：国連広報センターHP

本市では、「こどもの夢を育み、夢への挑戦をみんなで応援するまち」「こどもを中心にすべての世代がつながっているまち」を目指して、こどもの夢への挑戦を応援する事業だけでなく、こどもたちを支える「企業、団体、地域、市民（大人）」を支援する活動を行ってきました。

また、市の最上位計画である「小牧市まちづくり推進計画第1次基本計画」の推進を通じて、「誰一人取り残さない」持続可能で多様性と包摂性のある社会の実現を目指してきました。

2021年度には、本市のこれまでの取り組みと目標の達成に向けた提案が評価され、**本市は尾張地域で初の「SDGs未来都市」に選定されました。**



(4) 計画の期間

本計画の期間は、2024年度から2033年度までの10年間とし、必要に応じて計画期間や内容の見直しを行います。

第1章 計画改定の趣旨

第2章 観光に関する社会的変化

第3章 小牧市の観光の現状

第4章 小牧市の目指す観光

第5章 計画の推進に向けて

参考資料